

# 本 会 会 告

## 次期会長および評議員の選挙結果

先に実施した次期会長および評議員(半数改選)選挙の開票を10月31日に行なった。今回は、有権者数745名、そのうち投票数は301通、有効票は297通であった。開票結果は、次の通りである。

### (次期会長候補者)

石井武比古	86票	
岩崎 博	72	
菊田 惺志	72	白紙 4
上坪 宏道	52	無効 11

### (次期評議員候補者)

千川 純一	141票	波岡 武	89
太田 俊明	135	石井武比古	84
菊田 惺志	124	黒田 晴雄	68
渡辺 誠	123	篠野 嘉彦	64
佐々木泰三	121	富家 和雄	62
藤井 保彦	120	水木純一郎	60
安藤 正海	113	-----	
下村 理	109	柿崎 明人	56
岩崎 博	91	岩崎 準	51

評議員会は、この開票結果に従い、次期会長および評議員を下記の通りとした。

### 次期会長 (任期: 自1991. 4. 1 至1992. 3. 31)

石井 武比古

### 次期評議員 (任期: 自1991. 4. 1 至1993. 3. 31)

安藤 正海	黒田 晴雄	篠野 嘉彦
石井武比古	佐々木泰三	富家 和雄
岩崎 博	下村 理	藤井 保彦
太田 俊明	千川 純一	水木純一郎
菊田 惺志	波岡 武	渡辺 誠

## 放射光特別シンポジウム

第1部「小型光源加速器の現状と展望  
-リソグラフィへの出番は?-」

第2部「ソ連の放射光新技術」

期日 1991年1月28日(月)~31日(木)

場所 工業技術院共用講堂,

第1部実行委員長 佐々木泰三

(高工研名誉教授)

第2部組織委員長 千川 純一

(高工研・放射光)

○その他開催についての詳細は、本誌前頁掲載。

## 日本放射光学会第4回年会

期日 1991年4月23日(火)~25日(木)

場所 名古屋市中小企業振興会館

実行委員長 坂田 誠(名大・工)

○その他開催についての詳細は、本誌前頁掲載。

申込用紙は、巻末に綴じ込み。

## 第10回編集委員会

1990年9月8日(土)、食糧会館(麴町)で開催した。第3巻第3号の評価、第4号および第4号以降の内容について検討した。また、「投稿規程」(本誌後頁掲載)についても検討した。

## 第1回中型計画報告書起草委員会

(将来計画特別委員会)

1990年9月10日(月)、学士会分館で開催した。中型放射光施設計画に対する本学会の調査報告書の作成方針を検討した。

## 第6回行事委員会

1990年9月22日(土)、東大物性研で開催した。放射光特別シンポジウムの開催準備状況の報告および第4回年会開催計画について、検討した。

## 第15回定例幹事会

1990年9月29日(土)、高エ研で開催した。会員異動、学会誌投稿規程、第4回年会、放射光特別シンポジウム、次期会長・評議員選挙推薦結果、若手会員増の対策等について検討した。

## 第16回定例幹事会

1990年11月10日(土)、高エ研で開催した。前回幹事会での検討事項の再検討、および1990年度上半期決算報告、アイオニクスとの事務業務委託契約書について等検討した。

## 第11回評議員会

1990年11月17日(土)、健保会館(乃木坂)で開催した。各幹事、将来計画特別委員会等の報告の他、次期会長・評議員選挙結果、1990年度上半期決算報告、アイオニクスとの事務業務委託契約書等を承認した。

## 1990年度中間収支計算書

自 1990年4月1日  
至 1990年9月30日

(単位 円)

### 1. 収入の部

科 目	金 額	細 目	
1. 会員会費収入	4,353,000	正会員会費収入	4,329,000
		学生会員会費収入	24,000
2. 賛助会員会費収入	3,700,000		
3. 購読会員会費収入	128,000		
4. 学会誌広告料収入	2,144,940		
5. 学会誌販売収入	211,000		
6. 受取利息	1,136		
収入の部合計			10,538,076

### 2. 支出の部

科 目	金 額	細 目	
1. 学会誌出版費	2,905,955	会誌印刷費	2,390,013
		会誌編集費	42,692
		原稿料	316,000
		発送手数料・郵送料	157,250
2. 名簿管理費	64,800		
3. 事務経費	1,137,459	事務管理費	123,600
		賃借料	12,360
		事務用品費	33,908
		消耗品費	183,124
		水道光熱費	3,090
		給料手当	18,000
		印刷費	404,424
		税理士報酬・顧問料	280,000
		振込手数料・運賃	31,883
		交通費	47,070
4. 通信費	607,016		
5. 会議費	1,532,328	会場費	193,557
		旅費交通費	1,338,771
支出の部合計			6,247,558

3. 収支計算の部 当期収支差益 4,290,518

## 1990年度中間資産負債明細

1990年9月30日現在

(単位 円)

### 1. 資産の部

科 目	金 額	細 目	
1. 現金及び預金	1,905,250	手持現金残高	29,943
		郵便振替残高	1,817,180
		都民銀行普通預金残高	58,127
2. 会費未収入金	943,000	正会員会費未収残高	878,000
		賛助会員会費未収残高	50,000
		購読会員会費未収残高	15,000
3. 広告費未収入金	1,102,080		
4. 学会誌・会員名簿在庫高	787,843	学会誌Vol.3 No.1-3 (440冊)	622,945
		会員名簿 (220冊)	164,898
5. 電話加入権	70,000		
6. 什器備品	282,220	会長ファクシミリ	282,220
資産の部合計			5,090,393

### 2. 負債の部

科 目	金 額	細 目	
1. 行事特別勘定	681,806	講習会特別勘定受入金	448,344
		年会特別勘定受入金	360,262
		シンポジウム特別勘定受入金	△126,800
2. 会費前受金	0	正会員会費	0
		賛助会員会費	0
負債の部合計			681,806

### 3. 剰余金の部

科 目	金 額	細 目	
1. 前期繰越剰余金	118,069		
2. 当期収支差益	4,290,518		
剰余金の部合計			4,408,587

## 剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	118,069円
当期収支差益	4,290,518円
次期繰越剰余金	4,408,587円

上記の通り報告致します。

1990年11月17日

日本放射光学会1990年度

会 長 千川 純一

会計幹事 平井 康晴

## 日本放射光学会第10回評議員会議事録

日 時：1990年7月14日（土） 13：00～17：00

場 所：全電通労働会館（お茶の水）

出席者：雨宮 慶幸，石川 哲也，植木 龍夫，  
大隅 一政（庶務幹事），大柳 宏之，  
春日 俊夫，北村 英男，木村 克美，  
高良 和武，小早川 久，合志 陽一，  
佐藤 繁，菅 滋正，田中健一郎，  
谷口 雅樹，富增多喜夫，宮原 恒昱，  
安岡 則武，山川 達也，  
柿崎 明人（渉外幹事），菊田 惺志（特  
別委員会委員長），千川 純一（会長），  
平井 康晴（会計幹事），水木純一郎（行  
事幹事），西野三和子（事務局）

## 議 事：

1. 標記会議の議長に佐藤評議員を選出した。
2. 千川会長から、本年度の本学会活動の重点項目は、将来計画に対する全国的スケール、世界的視野での取り組み、更に会員を増やす為の努力をする事、および国際交流の活性化等の3項目である旨の挨拶があった。
3. 第8回、第9回評議員会議事録（案）を承認した。
4. 大隅庶務幹事から、本学会を学術団体として指定登録している特許庁に代表者変更届を提出したこと、会長専用のファクシミリ機器に関し

て千川会長と取り交した覚書について、およびアイオニクスとの事務業務委託契約書の更改について等の報告があった。

また、前評議員会以降に提出された入会申込み書が回覧され、正会員20名、賛助会員2社の全員の入会を承認した。更に、退会届（正会員2名）に関する報告があった。その結果、本評議員会現在、正会員は745名（うち学生29名）、賛助会員は74社となった。

5. 大嶋編集幹事の代理で大隅庶務幹事から、学会誌の発行状況、および投稿規定については編集委員会で検討中である旨の報告があった。
6. 柿崎渉外幹事から、Synchrotron Radiation Newsのメール・リストに本学会会員全員が登録された事、および日本学術会議への登録申請手続きの経過に関する報告があった。

また、結晶学会主催・講習会「回折法による結晶構造解析入門」への本学会の協賛については、本評議員会はこれを承認した。

7. 水木行事幹事から、第4回年会開催要綱（案）の報告があり、企画内容等について種々の議論があったが、今後、更に行事委員会で検討していく事とした。

小型SRシンポジウムの開催については、実行委員長を佐々木泰三氏に依頼する事等、その概要に関する報告があったが、行事委員会および実行委員会で更に検討していく事とした。

また、千川会長から、小型SRシンポジウムと同時期に日ソ合同シンポジウムを開催する旨の提案があり、日程、内容、運営等に関して議論が多々あったが、開催に向けて作業を進める事が急務なので、行事委員会、組織委員会に一任し、11月の評議員会で経過報告をする事とした。おな、組織委員長は、千川純一氏に願する事とした。

8. 植木第3回年会実行委員長から、第3回年会の開催および収支に関する報告があった。

また、本学会主催の各行事の開催通知を海外

に流布すべきだとの指摘があった。

9. 菊田将来計画特別委員会委員長から、同委員会での中型計画についての議論の経緯に関する報告があった。とくに、各計画の現在および将来の需要予測調査、それぞれの特徴を鮮明にする事等を通して、本学会の評価を表明する旨の説明があった。種々の議論の末、同委員会で引き続き検討していく事とした。
10. 大隅庶務幹事から、安藤物研連委員から提出された日本学術会議第4部報告(科技庁大型計画について)、および物研連での放射光関係の議論の経緯等に関する資料について報告があった。
11. 石川選挙担当委員から、次期会長および評議員選挙の実施要綱に関する報告があり、候補者推薦については昨年会員名簿を刊行したので今回は名簿を同封しない事、本選挙の投票用紙に学会印を押す事等の説明があった。また、推薦に際しての注意事項の記載法について指摘があり、字句を一部訂正した。
12. 千川会長から、若手会員、とくに学生会員増の対策について、安藤前評議員の提案を幹事会で検討した旨の報告があった。会費、年会等の参加費の件、若手向きの出版物の刊行等、種々の議論があり、更に幹事会で検討していく事とした。
13. 大隅庶務幹事から、アイオニクスとの事務業務委託契約更改について、幹事会で検討中であるが、業務内容に関して評議員各位の意見を9月末迄に寄せて欲しいとの依頼があった。  
平井会計幹事から、アイオニクスから出された要望について説明があり、本評議員会はこれを承認した。但し、契約期間の問題、年会等の開催時における業務範囲、会員名簿、会誌等の発行状況に応じた印刷費の計上等、検討を要する部分の指摘があった。
14. 次回評議員会は、特別委員会の作業の進捗状況を考慮しつつ、11月中旬位の土曜日に開催す

る事とした。

## 会員異動

第11回評議員会(11月17日)で、以下の入会を承認した。(入会申込受付順に記載)

### (正会員 9名)

松原 健夫 (大阪科技センター)  
 前島 幸彦 (ソルテック)  
 林 久夫 (龍谷大・理工)  
 金山 重夫 (三井東圧化学・総研)  
 高木 康夫 (新日鉄・第1技研)  
 桂 共太郎 (高エ研・放射光)  
 井上 典之 (ヒューリスティック)  
 鈴木 克美 (日本電気・基礎研)  
 亀田 幸成 (東工大・理)

### (賛助会員 1社)

(株)アバンセ

### (退会 3名)

朴 章植 (東工大・原子核工学(学生))  
 谷川 清之 (日本発条・新事業推進室)  
 林 正雄 (九大・工)

## 計報

正会員 谷川清之氏(日本発条)の逝去の報に接しました。本学会はここに謹んで哀悼の意を表すとともにご冥福をお祈り申し上げます。